

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全協会及び交通安全協議会に対する補助金・分担金		整理番号	587	枝番号			
担当部署		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553		
係名		交通対策係		上位施策名			No		
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700	交通安全の推進	6		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成 40年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第8項				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		・地域における交通安全運動の核となる各交通安全協会に対して、補助金を交付する。(交通安全協議会についても同じ) ・区、警察、交通安全協会共催で、広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図るため、杉並区交通安全のつどいを年1回開催する。		(2) 平成16年度交通安全協会、交通安全協議会補助金交付要綱				
	活動指標名(式)		(1) 交通安全協会が交通安全啓発活動を実施した延べ日数		(3) 平成16年度交通安全のつどい実施要領				
		(2) 杉並区交通安全のつどい参加者数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
				・各種団体の事業に要する経費の一部又は全部を補助することで、交通事故防止を目的とした活動を積極的に実施する。 ・広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通安全の気運を盛り上げるための交通安全のつどいを開催する。					
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
				(1) 区内の交通事故件数					
				(2) 交通安全協会加入者数・団体数					
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	日	276	279	279	303	303		
	活動指標(2)	人	1,100	580	900	900	580		
	成果指標(1)	件	3,272	3,215		3,206			
	成果指標(2)	件	2,432	2,330		2,260			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,324	5,324	5,324	5,324	5,324	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.34	0.33	0.27	0.33	0.27		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,088	2,968	2,457	3,003		2,457
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++	千円	8,412	8,292	7,781	8,327	7,781		
	単位あたりコスト ÷	円	30,478	29,720	27,889	27,482	25,680		
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	8,412	8,292	7,781	8,327	7,781		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	108.6	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	100.0		
		補助金は、地域における交通安全運動の核となる杉並・高井戸・荻窪交通安全協会と杉並区交通安全協議会に交付した。また、杉並区交通安全のつどいについては、広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図るため、9月に東京女子大学講堂で開催した。							
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		補助金については、各交通安全協会が主体的に交通安全活動を行っていくために、現状を維持した。杉並区交通安全のつどいについては、区立小学校合唱隊・父兄など、地域の人々が広く参加できるように検討し実施した。							

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・区内の交通事故件数 平成2年…1,749件 平成16年…3,206件 ・交通安全協会加入者・団体数 平成7年度…3,195人 平成16年度…2,260人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	補助金の増額要請がある。
	今後の予測	今後、景気が回復せずに不況が続くと、更に交通安全協会加入者・団体数が減少すると考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	理由：交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区内全域で地域の特性にあった交通安全啓発活動を実施している交通安全協会の協力が必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 理由または具体的内容：補助金については、16年度から交付対象の中に杉並区が特に要請する交通安全事業を加えており、より多くの成果が期待できる。杉並区交通安全のつどいについては、地域の人々が広く参加できるように内容等を見直していく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：既に、交通安全協会員は協会運営費を負担している。また、杉並区交通安全のつどいの経費も分担金制をとり、各交通安全協会も経費を負担している。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容：交通安全のつどいについては、開催内容の見直しを行うことにより、コストを下げることは可能ではある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容)	理由： 理由または具体的内容：既に、交通安全協会員は協会運営費を負担している。また、交通安全のつどいについては、区・各警察署・各交通安全協会の共催で開催しており、経費も分担金制をとり、各交通安全協会も経費を負担している。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 今後も、交通安全協会員は協会運営費を負担する。また、交通安全のつどいについては、区・各警察署・各交通安全協会の共催で開催しているが、経費も分担金制について再度検討を行う。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域における交通安全運動の核となる各交通安全協会に対する補助金については、現状を維持する。16年度から補助金交付対象事業の中に杉並区が特に要請する交通安全事業を加えたため、より多くの成果が期待できる。杉並区交通安全のつどいについては、地域の人々が広く参加できるように内容等を検討する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 交通安全のつどいについては、警察・交通安全協会と企画の段階から見直す必要があるため、協議を行い、調整する必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 地域の人々の代表である各交通安全協会に対する補助金については、地域における交通安全活動が活性化されるよう、金額、交付方法を含め、検討を行う。 杉並区交通安全のつどいについては、地域の人々が広く参加できるように、関係団体と協議を行う。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発活動委託				整理番号	588		枝番号			
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	603	
係名		交通対策係				上位施策名			No			
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進			6		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		8 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並・高井戸・荻窪地域交通安全活動推進委員協議会		(1) 地方自治法第2条第8項 (2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項 (3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		違法駐車防止活動や高齢者・自転車利用者に対する交通安全啓発活動等を、交通安全の専門性の高い、地域の人々の集まりである地域交通安全活動推進委員協議会に委託する。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					
	活動指標名(式)		(1) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数 (2) 交通安全啓発活動に参加した延べ人数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区内における違法駐車台数 (2) 区内における高齢者の交通事故件数					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		時間	543	543	543	543	543				
	活動指標(2)		人	355	418	418	471	471				
	成果指標(1)		台	2,903	2,545		2,523					
	成果指標(2)		件	478	498		468					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	494	494	495	494	495	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	494	494	495	494	495				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.34	0.33	0.27	0.33	0.27				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,088	2,968	2,457	3,003	2,457				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	3,582	3,462	2,952	3,497	2,952				
	単位あたりコスト ÷		円	6,597	6,376	5,436	6,440	5,436				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	3,582	3,462	2,952	3,497	2,952					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	112.7	16年度予算執行率%	99.8	交通安全の専門性の高い、地域の人々の集まりである地域交通安全活動推進委員協議会は、違法駐車防止活動、高齢者に対する交通安全啓発活動、その他の交通安全啓発活動を委託契約どおり実施した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		専門性を持ち、交通安全啓発活動の主体となる地域の人々を取りまとめる、地域交通安全活動推進委員協議会の活動により、より効果があがるように委託契約の内容を検討していく。平成16年度の委託契約から「自転車の安全利用に関する啓発」を加え、交通実態に即し効果のある内容としている。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・区内の違法駐車台数 平成8年…3,722台 平成16年…2,523台 ・区内の高齢者人口 平成8年…74,172人 平成16年…91,380人 ・区内における高齢者の交通事故件数 平成8年…214件 平成16年…468件
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	二輪車の違法駐輪が多くなってきている。また、自転車の安全走行啓発についての要望・苦情が多い。
	今後の予測	一人ひとりの交通安全意識の向上がなければ、今後も違法駐車の問題は発生すると考えられる。一方、今後、更に高齢者人口が増加(平成22年予測102,432人)し、高齢者の交通事故も増加すると考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由：違法駐車が渋滞や交通事故が発生する1つの原因であること、また、高齢者の交通事故が急増していること、それらを改善するために実施する交通安全啓発活動は、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 理由または具体的内容：委託契約を毎年見直し、時代に合った交通実態に即した内容とすることで、効果を向上させる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：事業の性質上、受益者負担はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：実際に活動した時間に対してのみ、対価を払っているため、コストを下げることはできない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由： 理由または具体的内容：当該事業は特殊な性質があり、違法駐車防止活動、高齢者に対する交通安全啓発活動、その他の交通安全啓発活動を適切に行える団体として、各警察署との協力関係が強い当該地域交通安全活動推進委員協議会と協働して事業を進めている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 地域交通安全活動推進委員協議会に限らず、交通安全啓発活動が行えるNPO等団体との協働の実施も検討していく。

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より効果があがるように、委託契約の内容を検討していく。具体的には、平成16年度の委託契約から「自転車の安全利用に関する啓発」を加え、交通実態に即し効果のある内容としている。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委託契約の内容を時代に合った交通実態に即した内容とするため、交通安全啓発活動の主体となる地域の人々の代表である、地域交通安全活動推進委員協議会と協議し、調整する必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	地域の人々の代表である地域交通安全活動推進委員協議会の活動に対する委託契約を再検討し、より効果的なものとしていくため。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発用品の購入と配布				整理番号	589		枝番号			
担当部課名 都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	604			
係名 交通対策係		上位施策名						No				
予算事業名 交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進				6			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第8項									
	区民及び道路利用者の生命・財産		(2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項									
	区民及び道路利用者の生命・財産		(3)									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）										
交通安全啓発用品を購入し、区民に配布する。地域の人々に広く交通安全意識を広めるため、横断歩道用横断幕や表示幕を作製し、区内の道路に掲示する。		区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、正しい交通ルール・マナーを実践してもらう。										
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 交通安全啓発用品配布数		(1) 交通安全啓発用品配布数 / 杉並区民人口										
(2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数		(2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数 / 区内の道路延長 (km)										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		個	33,983	35,090	25,500	45,150	25,500				
	活動指標(2)		流	75	82	84	76	84				
	成果指標(1)		%	7	7	5	9	5				
	成果指標(2)		枚 / 100 km	10	11	11	10	11				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,440	5,425	5,529	9,742	5,529	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.13	2.06	1.71	2.06	1.71				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	19,347	18,528	15,561	18,746	15,561				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	24,787	23,953	21,090	28,488	21,090				
	単位あたりコスト ÷		円	729	683	827	631	827				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	24,787	23,953	21,090	28,488	21,090					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	177.1	活動指標(2)の16年度達成率%	90.5	16年度予算執行率%	176.2					
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		横断歩道用横断幕や標示幕による啓発だけでなく、交通安全啓発用品を購入し、区民及び道路利用者に配布することで、交通安全意識の向上を図った。 また、平成16年度の予算流用により、区内2歳児を対象とする自転車幼児用ヘルメットの購入を行った。(平成17年度4月から配布を開始する。) 「自転車安全走行キャンペーン」を区内各箇所で行い、その際は効果的な啓発資材を用意して実施した。 また、自転車幼児用ヘルメットの配布など、啓発用品の配布の機会を広くとらえて実施していく。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・区内の交通事故件数 平成8年…2,068件 平成16年…3,206件 ・杉並区民の人口 平成8年…501,316人 平成16年…512,589人 ・区内の道路延長(km) 平成8年…746km 平成16年…752km
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	交通ルール・マナーをもっと周知・徹底してもらいたい。特に、自転車の安全走行の啓発への要望が多い。交通安全啓発用品の配布数を増やしてもらいたい。
	今後の予測	車両保有台数・運転免許保有者数の増加や交通量の増加から、道路交通は過密・混合化が生じ、また、生活様式の変化、生活の24時間化、更に基本的な交通ルール・マナーの欠如が複雑に絡み合い、厳しい交通環境が続くと考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由：交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区民及び道路利用者の交通安全意識の向上が不可欠であり、そのためには、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施する必要がある。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 理由または具体的内容：関係機関と協議することにより、より効果的で実用的な啓発用品を選定する。平成16年度から、「自転車安全走行キャンペーン」を区内各箇所で行い、その際は効果的な啓発資材を用意して実施した。また、17年度4月からの自転車幼児用ヘルメットの配布に際して、アンケートの回収を行い今後の施策に反映させる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：事業の性質上、受益者負担はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：啓発用品の一部を環境にやさしい素材に転換するため、単位あたりのコストが高くなる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由： 理由または具体的内容：各警察署・各交通安全協会が行う交通安全キャンペーン等で使用する啓発資材の一部については、区で費用負担し配布している。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 「自転車安全走行キャンペーン」の実施については、区内NPO団体等に呼びかけを行い、協働関係を立ち上げる。

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より広い配布の機会をとらえ、啓発用品を購入する。 また、より効果のある実用性が高い啓発用品を購入する。 平成16年度から、「自転車安全走行キャンペーン」を区内各箇所で行い、その際は効果的な啓発資材を用意して実施している。 平成17年度4月より、区内2歳児を対象とする自転車幼児用ヘルメット(平成16年度の課間流用予算で購入)の配布を行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 より広い配布の機会をとらえるため、協議・検討を行う。 より効果のある実用性が高い啓発用品の選定が必要となるので、警察、交通安全協会と協議する必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくために、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施する必要がある。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全モデル地区整備計画				整理番号	590		枝番号	
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	605
係名					交通対策係			上位施策名		No
予算事業名					交通安全運動推進			交通安全の推進		6
事業開始年度					○ 昭和 ● 平成 5 年度			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		
対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			(1) 地方自治法第2条第8項		
井草四・五丁目の一部と上井草一・二丁目及び三丁目の一部の地区内道路、道路利用者及び地域住民								(2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1.2.3項		
								(3)		
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					「地区交通安全計画」に基づき、交差点の改良・道路標識の改修等を行い、また、交通安全の普及啓発を行う。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		
								交通安全の普及啓発や歩車共存道路等を整備することにより、安全で良好な生活環境が確保され、歩行者などによる交通事故が減少する。		
活動指標名(式)								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		
(1) 交差点改良の箇所数								(1) 交差点改良の整備率		
(2) 交通安全キャンペーンの実施								(2) 参加人数		
		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		箇所	5	0	0	0	0		
	活動指標(2)		回	2	0	1	1	0		
	成果指標(1)		%	64	64	64	64	0		
	成果指標(2)		人	70	0	80	90	0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,780	237	258	187	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 当該モデル地区整備計画は、施設面の整備を担当する建設課施設整備係と共同して事業運営してきたが、交差点改良等の点的整備が概ね目途がたったため、平成17年度から事業予算なしとなった。	
	(内)委託費		千円	0	186	187	187	0		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.35	0.20	0.05	0.05	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,179	1,799	455	455	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	12,959	2,036	713	642	0		
	単位あたりコスト ÷		円	2,591,800						
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	12,959	2,036	713	642	0			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%			活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	72.5		
		交通安全啓発活動を行うとともに、標識(案内板)を改修し、交通事故防止を図った。								
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		今後は、モデル点的整備が概ね目途がたったため、当該地域については一般的な区内の地域と同様に、区全体の整備計画のなかに位置づけ整備していく。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	対象地区は通過交通の流入により、車対人、車対自転車の交通事故が多く発生していた。平成9年に地域交通安全連絡会が発足し、交通安全意識の向上を図ってきたが、依然として交通事故は多い。継続的に交通安全に対する啓発活動を行うとともに、交差点の改良や道路標識の改修を行った。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成9年に地域住民の代表を中心にした「地域交通安全連絡会」が発足され、区と警察署がこの地区の交通安全施策について検討を行った。これに基づき平成11年に「地域交通安全連絡会」から、道路構造の改良、交通安全意識の高揚や交通規制などを総合的にとらえた「地区交通安全計画の提案」が提言された。
	今後の予測	平成16年は交通事故も若干減少したが、さらなる交通安全意識の高揚や事故防止のための交通安全施策を進めていく必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 交差点の改良や道路標識の改修により、交通事故防止が図れる。 理由または具体的内容:
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 総合的な交通安全対策は交通管理者(警察署)と共に、基礎的自治体である区が行う必要があるため、受益者負担は不相当である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 交差点の改良や道路標識の改修については、建設コスト縮減実施行動計画により既に見直しを実施している。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 標識(案内板)改修に関わる工事請負(案内板設置工事)
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 平成17年度より事業予算なし

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事故の多い高齢者、小学生を対象に今まで以上に交通安全教室・啓発事業に力を入れて交通事故防止に努めていく。交差点改良等の点的整備の目途が立ったため、他事業による歩車共存道路整備等の線的整備に移行していく。その際、関係機関・警察署等との調整を図るとともに、補助事業に導入が見込める。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 交差点改良等の点的整備が概ね目途がたったため、平成16年度の事務事業評価の結果として、平成17年度より事業予算なしとなった。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全施設維持補修				整理番号	601		枝番号						
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	617				
係名				交通安全施設係				上位施策名		No					
予算事業名				交通安全施設維持補修				コード		61900		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		36年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号								
	区が管理する道路の利用者						(2) 道路法第42条								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				破損した交通安全施設の補修工事及び、道路反射鏡・ガードレール・配電型交差点鉄の清掃を行う。また配電型交差点鉄の電気料金を支払う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
活動指標名(式)				(1) 修理件数(道路反射鏡・防護柵・標識)		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) $\text{稼働率} = (\text{管理数} * 365 - \text{修理件数} * \text{修理日数}) / (\text{管理数} * 365) * 100$ (2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%						
指標	活動指標(1)		件	605	564	600	529	550							
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	99.9	100	100	100	100							
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	54,482	49,196	46,438	46,010	46,678	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年度修理対象管理数 ・反射鏡6,149面 ・防護柵12,168基 (3m/基換算) ・標識1,481枚 ()内は箇所あたり修理日数 ・反射鏡393件(3.5日) ・防護柵125件(18日) ・標識11件(9.9日)						
	(内)委託費		千円	51,852	47,524	44,657	44,280	44,928							
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.45	2.62	2.41	2.43	2.36							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	22,253	23,564	21,931	22,113	21,476							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	76,735	72,760	68,369	68,123	68,154							
	単位あたりコスト ÷		円	126,835	129,007	113,948	128,777	123,916							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0			
差引:一般財源 -		千円	76,735	72,760	68,369	68,123	68,154								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	88.2	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	99.1	・道路反射鏡や警戒標識など施設機能の妨げになる沿道樹木の枝の剪定や交通事故などによる施設破損の初期対応など、職員が通常事務の傍ら、交通安全作業の応急的な保全作業を行なって、委託経費の削減に努めた。						
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・交通事故などにより破損したガラス製鏡面は、ステンレス製に交換し寿命を延ばしている。												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主な交通安全施設の管理数値(各年4月1日) ・防護柵 S57 40,489m H4 39,375m H16 36,505m ・道路反射鏡 3,386本 4,327本 4,840本 ・道路標識 1,632本 1,849本 1,470本
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	交通安全施設の補修に対する要望が多く、緊急性のある補修要望も多い。
	今後の予測	交通安全施設の整備設置が進んでおり、今後は大幅な交通安全施設の増加はない。維持補修工事による補修件数についても現状維持若しくは微増で推移するものと予測する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路交通の安全を確保するためには、交通安全施設を適正に管理し、その機能を保持することは重要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 職員が交通事故などによる施設破損の安全対応を第一に応急対応することで委託経費の削減が可能であり、また委託業者が現場到着までの安全を確保できる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現行の形態が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・道路反射鏡鏡面の事故などによる交換頻度を少なくするために、従来のガラス鏡面に比べ接触などに強く、耐久性の高いステンレス製に今後も改めていく。これにより、将来の補修経費の減少及び廃棄物による環境負荷の軽減を今後も行なっていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・道路反射鏡鏡面の耐久性向上に伴い初期経費の増加が見込まれる。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。 ・交通安全施設清掃委託の一部を道路作業委託への変更を検討する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路反射鏡新設・改良				整理番号	602		枝番号			
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	618	
係名		交通安全施設係				上位施策名			No			
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進			6		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		43 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	区が管理する道路の利用者		(2) 道路法第2条及び第8条									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		(3) 道路法施行令第34条の3									
活動指標名(式)		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）										
(1) 新設・改良数		道路利用者に対して十分な視距を確保して、道路交通の安全を保つ。										
(2) 管理数(鏡面数)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
		(1) 整備対応率 = 管理面数 / 交差点面数 × 100										
		(2)										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		本	85	86	100	96	100				
	活動指標(2)		面	6,090	6,149	6,179	6,242	6,272				
	成果指標(1)		%	34	35	35	35	35				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,862	12,185	15,400	14,890	17,460	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年度実績内訳 新設67本 改良29本 交差点面数17,728面			
	(内)委託費		千円	11,862	12,185	15,400	14,890	17,460				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.53	0.65	0.80	0.78	0.88				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,814	5,846	7,280	7,098	8,008				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	16,676	18,031	22,680	21,988	25,468				
	単位あたりコスト ÷		円	196,188	209,663	226,800	229,042	254,680				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	16,676	18,031	22,680	21,988	25,468					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	96.0	活動指標(2)の16年度達成率%	101.0	16年度予算執行率%	96.7	・新設要望、改修必要箇所については、ほぼ計画通り事業を行った。				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・従来のガラス製鏡面は、接触等の事故損傷による鏡面の破損がひどく、速やかな交換が必要であった。しかし、過去事故の履歴のある鏡面については、交換頻度を減少させるため耐久性の高いステンレス製鏡面に交換した。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H16=1081件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・道路利用者が反射鏡に頼りすぎて安全確認を怠るようになるとの意見がある。・自転車対歩行者についての設置要望ある。・反射鏡設置箇所前の地先住民は将来家屋改築時の施設移設費用の負担や景観の悪化などを理由に設置の理解が得られないことがある。
	今後の予測	・施設の老朽化による必要に応じた改修が必要になる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:見通しの悪い交差点や屈曲部地点の視距不足を解消する手段として、交通事故防止効果は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:耐久性に優れた反射鏡材料を導入することで、事故損傷等による鏡面交換の頻度を少なくする。将来的な補修経費の減少と廃棄物による環境への負担を軽減する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:現行の形態が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・道路反射鏡の新設、改修に際し、従来のガラス製鏡面を、接触などに強く耐久性の高いステンレス製に改めることにより、事故損傷などによる鏡面交換の頻度を少なくすることによって、将来の補修経費の減少と廃棄物排出の減少を図る。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・鏡面の耐久性向上に伴い初期経費は生じるが、鏡面交換の頻度が減少させることで長期的な経費の削減を図る。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		警戒標識等新設・改良				整理番号	603		枝番号		
担当部課		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	619	
係名 交通安全施設係					上位施策名				No		
予算事業名 交通安全施設整備					コード	62100		交通安全の推進			6
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条3項第8号						
	区が管理する道路利用者				(2) 道路法第2条、第45条、第85条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 交差点、道路の屈曲部、踏切など危険箇所注意喚起のための標識、また道路管理者が行う規制箇所周知のための標識を設置する。更に老朽化した標識の改修を行う。				(3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 新設・改良数				道路利用者に対して、道路状況や沿道状況、注意の予告、また規制の告示を行うことにより、道路の交通安全を確保する。							
(2) 管理数値(標識板の枚数)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 標識設置度 = 道路延長/管理数							
				(2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		本	34	25	15	12	0			
	活動指標(2)		枚	1,478	1,481	1,481	1,477	1,477			
	成果指標(1)		m/枚	462	462	462	463	463			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,742	2,031	941	1,478	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年度実績内訳 新設本数3本 改良本数9本 平成17年4月1日 道路延長 684,590m		
	(内)委託費		千円	1,742	2,031	941	1,478	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.08	0.11	0.05	0.08	0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	727	989	455	728	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	2,469	3,020	1,396	2,206	0			
	単位あたりコスト ÷		円	72,618	120,800	93,067	183,833				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	2,469	3,020	1,396	2,206	0				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	80.0	活動指標(2)の16年度達成率%	99.7	16年度予算執行率%	157.1	平成16年度は、新設改良12本のほか、現場精査を行い施設の撤去などを20箇所行った。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・地域の交通や沿道状況の変化を良く見極め、標識の改修や共架を行い、整理統合を行なった。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H16=1081件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・特にない。
	今後の予測	・施設の老朽化に応じた改修が必要になる。 ・「警戒標識等新設・改良事業」は平成17年度から休止する。今後は交通安全施設維持補修事業の中で施設の維持管理を行なう。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路利用者に道路状況を知らせる効果は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:この事業は平成16年度をもって休止するため、成果の向上はない。 理由または具体的内容:交通安全施設維持補修事業の中で施設の維持管理を行ない、成果の向上維持を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般の利用者に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:この事業は平成16年度をもって休止する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:現行の形態が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・大規模な老朽化などの改修計画が起工されなければ、交通安全施設維持補修事業で施設の維持管理を行なう。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成17年度からは「警戒標識等新設・改良」工事は休止する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自発光式交差点鉦新設・改良				整理番号	604		枝番号			
担当部課		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	620	
係名				交通安全施設係				上位施策名		No		
予算事業名				交通安全施設整備事業				交通安全の推進		6		
事業開始年度		●昭和 ○平成		46年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第2条、第85号 (3) 道路法施行令第34条の3								
区が管理する道路の利用者		区が管理する道路の利用者										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		夜間において交差点の所在を明示するため、点滅式の交差点鉦を新設する。また、老朽化した施設を改良する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 夜間の交差点の所在を明確にすることで、出会い頭の事故等を防止し、道路利用者の安全を確保する						
活動指標名(式)		(1) 新設・改良箇所数 (2) 管理数値(設置交差点箇所数)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備率 = 設置交差点箇所数 / 交差点箇所数 * 100 (2)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		箇所	25	17	16	30	16				
	活動指標(2)		箇所	378	410	420	422	432				
	成果指標(1)		%	5.3	5.8	5.9	6.0	6.1				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,499	5,472	6,066	6,174	2,865		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年度実績内訳 新設12箇所 改良18箇所 交差点箇所数7,091箇所		
	(内)委託費		千円	7,499	5,472	6,066	6,174	2,865				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.34	0.29	0.32	0.32	0.15				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,088	2,608	2,912	2,912	1,365			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	10,587	8,080	8,978	9,086	4,230				
	単位あたりコスト ÷		円	423,480	475,294	561,125	302,867	264,375				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	10,587	8,080	8,978	9,086	4,230					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	187.5	活動指標(2)の16年度達成率%	100.5	16年度予算執行率%		101.8	・計画通り事業を行なった。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・事故の多い交差点や予測される交差点については、中央設置型の他に停止線用の施設の設置を行なった。 ・道路や交差点の大きさに合わせて、大型と小型の機種を使い分けた。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H16=1081件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・夜間の交差点の交通事故防止や速度抑制の対策として区民や警察からの設置要望が多い。 ・設置位置によっては、車両のタイヤにあたり振動が起こるとの意見がある。
	今後の予測	配電式鋏を自発光式鋏への改良と自発光式鋏の新設を行っていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:夜間に交差点に対して、車両や歩行者に交差点の周知明示ができ、注意・啓発などの交通事故対策に効果がある。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:道路工事などが予定されている場合、工事の調整を事前に行い、協力して施工することにより、道路復旧費用などの削減が見込まれる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:現行の形態が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・今後も事故が、頻発する交差点や予測される交差点については設置していく。また、中央付近が明るい交差点で中心に設置できない場合、状況に応じて停止線に自発光式鋏を設置する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 ・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地点名標識板新設・改良				整理番号	605		枝番号		
担当部課名 都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	621		
係名 交通安全施設係					上位施策名				No		
予算事業名 交通安全施設整備					コード	62100		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8項						
	区が管理する道路の利用者				(2) 道路法第2条、第45条、第85条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 信号柱が設置された場所に、地点名の入った標識の設置や老朽化した標識の改修を行う。				(3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 新設・改良数				道路利用者に地点名や施設名等必要な情報を表示し、道路交通の安全性及び円滑性を確保する。							
(2) 管理数値				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 整備率 = 設置交差点箇所数 / 区道路上信号機数 * 100							
				(2)							
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		枚	0	9	10	7	10			
	活動指標(2)		枚	0	439	443	442	446			
	成果指標(1)		%	0	63.5	64.4	63.6	64.6			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	787	873	943	860	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年度実績内訳 新設3枚 改修4枚 平成17年4月1日 設置交差点箇所数 133箇所 区道路上信号機数 209箇所		
	(内)委託費		千円	0	787	873	943	860			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.00	0.04	0.04	0.05	0.04			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	360	364	455	364			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	1,147	1,237	1,398	1,224			
	単位あたりコスト ÷		円		127,444	123,700	199,714	122,400			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	1,147	1,237	1,398	1,224				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	70.0	活動指標(2)の16年度達成率%	99.8	16年度予算執行率%	108.0	・警察管理の信号機への取付方法が変更になり、取付金具などの経費が当初予算より増えたため、当初計画に達しなかった。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・老朽化した地点名標識の改修と信号機が新設された箇所に新設を行なった。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・地点名標識板の取付必用箇所については、整備をほぼ終了している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・その地域の施設名を地点名板にしている場合、その施設と地点名の呼び方が都と区で違っているとの意見があった。 ・新しい信号機が設置されると警察から取付けの要望がある。
	今後の予測	・今後は老朽化した地点名標識を順次改良と新設信号柱への新設を行なう。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路利用者に必要な位置情報を与えることにより交通の円滑化に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:道路利用者へ地域の名称を周知する施設あり、取付け箇所が信号機上であることから、これ以上の成果は望めない。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:現行の形態が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・既設のFRP材質の地点名標識をアルミ材質へ順次改良していく。 ・新たに設置された信号機には、必要に応じて整備していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		白線整備			整理番号	606		枝番号	
担当部署		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603	
係名		交通安全施設係			上位施策名				No
予算事業名		交通安全施設整備			コード	62100		交通安全の推進	6
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号				
	区が管理する道路の利用者		(2) 道路法第2条・第45号・第85号						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3) 道路標識・区画線及び道路標示に関する命令						
道路の舗装上にペイントを用いて通行帯明示のための白線を引く。また、磨耗した白線を更新する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 白線施工延長		(1) 白線設置率 = 白線設置延長 / 道路延長 * 100							
(2) 管理数値(白線設置延長)		(2)							
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	m	71,395	63,064	65,000	61,459	65,000		
	活動指標(2)	m	517,780	517,780	517,780	517,780	517,780		
	成果指標(1)	%	78	76	76	76	76		
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	31,391	30,752	31,200	30,543	30,550	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年4月1日 道路延長 684,590m	
	(内)委託費	千円	31,391	30,752	31,200	30,543	30,550		
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.41	1.64	1.62	1.61	1.54		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	12,807	14,750	14,742	14,651		14,014
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++	千円	44,198	45,502	45,942	45,194	44,564		
	単位あたりコスト ÷	円	619	722	707	735	686		
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	44,198	45,502	45,942	45,194	44,564		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	94.6	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	97.9	・計画通り事業を行なった。	
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・道路の交差点や屈曲部部分について、白線による視覚的狭さくや区画線の車道側に破線の設置をおこなった。							

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H16=1081件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・白線の磨耗箇所を更新するよう要望がある。 ・区画線歩道側の幅員が狭い箇所において引き直しの要望がある。
	今後の予測	・実施計画通り整備を行う。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 車両及び歩行者の通行区分を明確にすることで、接触事故を防止し安全な通行を確保する効果が大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 緊急対応が必要な白線設置を除き、要望件数をとりまとめて指示・工事施工することで事業費の増加が抑えられる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現行の形態が望ましいと考える。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・車線と路側帯の幅員構成の見直しは交通管理者(警察)と協議しながら進めていく。 ・白線による視覚狭さくや白線の破線の設置は引き続き行なっていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・中央線や区画線の廃止や、既設白線の位置をかえて引き直する場合、消去費用が新たに発生する。16年度は従来の削り工法に追加して超高压水消工法を採用し、道路舗装への影響を抑えた。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		点字ブロック新設・改良				整理番号	607		枝番号				
担当部署		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	623		
係名				交通安全施設係				上位施策名		No			
予算事業名				交通安全施設整備				コード		62100		交通安全の推進	6
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		60 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第2項第8号						
	区が管理する道路を利用する視覚障害者等						(2) 東京都福祉のまちづくり条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				視覚障害者が道路を通行する際の補助となる誘導ブロック等を道路上に設置する。		(3)						
活動指標名(式)						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
						視覚障害者を安全かつスムーズに目的地まで誘導する。							
						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 新設・改良枚数		(1) 整備対応率 = 点字ブロック管理延長/道路延長 * 100							
				(2) 管理数値(点字ブロック設置枚数)		(2)							
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)		枚	934	527	500	766	800					
	活動指標(2)		枚	14,990	15,462	15,962	16,243	16,643					
	成果指標(1)		%	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,828	2,966	3,800	3,355	5,920	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年4月1日道路延長684,590m (点字ブロック延長 = 管理数値 * 0.3)				
	(内)委託費		千円	6,828	2,966	3,800	3,355	5,920					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.31	0.16	0.20	0.18	0.30					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,816	1,439	1,820	1,638	2,730					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	9,644	4,405	5,620	4,993	8,650					
	単位あたりコスト ÷		円	10,325	8,359	11,240	6,518	10,813					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	9,644	4,405	5,620	4,993	8,650						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		153.2		活動指標(2)の16年度達成率%		101.8		16年度予算執行率%		88.3	
		・計画どおり事業を行なった。点字ブロックの新設要望箇所を主に行なったため枚数は増えたが、予算執行率は減った。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・平成16年度実施計画の改定時に17年度800枚、18年度以降600枚と事業量の増加を行なった。											
		・区道路上の点字ブロックは歩道が未設置の路側帯に設置されていることが多く、車両の通行にも耐えられる強度を必要とする。平成16年度路側帯部分には、点字シートを使用し、ブロックによるがたつきに注意をした。											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	視覚障害者数(身体障害者手帳交付数) S60.4 = 826人 H14.4 = 953人 H17.3 = 996人
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・視覚障害者やその団体から駅周辺と公共施設から公共交通機関までの経路上に点字ブロックの設置要望がある。また、歩行に不自由な方が、点字ブロックにつまづくという意見がある。
	今後の予測	・視覚障害者の社会進出を安全に進める手段の一つとして、今後も整備が必要である。また、事業実施当初に整備した施設の改修が必要になる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 誰もが安心して通行できる道路とするために、施設の設置は貢献度が高い。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 点字ブロックを設置するにあたり、視覚障害者やその団体から意見を伺い、よりの確な設置を行うことで更に成果向上ができる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現行の形態が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・今後も車両などの通行に耐えられる、耐久性のある点字施設や施工方法について、情報収集を行い、新しい技術を取り入れるとともに、視覚障害者等の意見を具体化することで、より事業効果を高める努力をする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すべり止め舗装			整理番号	608		枝番号		
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		
係名		交通安全施設係			上位施策名				No	
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進	6		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		1年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	区が管理する道路の利用者				(2) 道路法第2条、第45条、第85条					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		道路のカーブ、交差点等の舗装面上にカラーすべり止め舗装を行う。		(3)					
活動指標名(式)		(1) 新設・改良面積		(2) 管理数値(施工累計面積)		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 道路のカーブ及び坂道のスリップ防止、また交差点等における色彩の変化による注意喚起により交通事故を抑止する。				
						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備対応率 = 施工累計面積 / 道路面積 * 100 (2)				
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		m ²	1,337	1,337	1,400	1,189	1,400		
	活動指標(2)		m ²	25,759	26,744	28,144	28,134	29,534		
	成果指標(1)		%	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,895	12,596	12,600	13,468	14,840	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年4月1日 区道路面積 3,359,122m ²	
	(内)委託費		千円	10,895	12,596	12,600	13,468	14,840		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.49	0.67	0.65	0.71	0.75		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,451	6,026	5,915	6,461	6,825		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	15,346	18,622	18,515	19,929	21,665		
	単位あたりコスト ÷		円	11,478	13,928	13,225	16,761	15,475		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	15,346	18,622	18,515	19,929	21,665			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	84.9	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	106.9	・ほぼ計画どおり事業を行なった。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・すべり止め舗装の骨材にガラスビン回収により発生したガラスカレット入り骨材を使用した。平成17年度事業にも引き続き使用していく。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H16=1081件	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・事故の発生する虞のある交差点や屈曲部分に着色を施し、色彩の変化による事故防止要望が増えている。	
	今後の予測	・既設の磨耗したすべり止め舗装部分の改修や危険な交差点付近などの明示方法として要望が増える。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 交差点などの路面に色彩による変化をつけ、道路利用者の注意を喚起することで交通事故防止に効果がある。また、他の交通安全施設事業と複合的に実施することにより、効果が增加する。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 要望による一回のすべり止め舗装の施工範囲が小さいと、一回の施工コストが増加する。しかし、施工指示を数箇所毎、まとめて施工することで事業費の大幅な増加が抑えられる。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。	
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。	
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現行の形態が望ましいと考える。	

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・資源再利用や環境への配慮から、すべり止め舗装の骨材にガラスビン回収により発生したガラスカレット入り骨材を使用していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		防護柵の改良			整理番号	609		枝番号		
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		
係名		交通安全施設係			上位施策名				No	
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進	6		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		6 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	区が管理する道路の利用者				(2) 道路法第2条・第85号					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老朽化した既存の歩車道分離防護柵(車道用ガードレールを歩道用として代用)を交通状況や周囲の景観に配慮した歩道用防護柵に更新改良する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
活動指標名(式)		(1) 各年度毎の改良延長		(2) 平成6年度以降の改良実績		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 改良率 = 改良延長 / 防護柵延長 * 100 (2)				
区が管理する道路の利用者				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 車両が歩道等へ逸脱するのを防ぐとともに、歩行者がみだりに車道横断するのを抑制することにより、道路利用者の安全を確保する。						
活動指標名(式)		(1) 各年度毎の改良延長		(2) 平成6年度以降の改良実績		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 改良率 = 改良延長 / 防護柵延長 * 100 (2)				
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		m	974	654	700	603	700		
	活動指標(2)		m	11,869	12,523	13,223	13,126	13,826		
	成果指標(1)		%	32	34	36	36	38		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,768	13,994	16,100	15,110	17,371	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年4月1日 防護柵管理延長 36,414m	
	(内)委託費		千円	19,768	13,994	16,100	15,110	17,371		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.89	0.74	0.83	0.80	0.88		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,084	6,656	7,553	7,280	8,008		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	27,852	20,650	23,653	22,390	25,379		
	単位あたりコスト ÷		円	28,595	31,575	33,790	37,131	36,256		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	27,852	20,650	23,653	22,390	25,379			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	86.1	活動指標(2)の16年度達成率%	99.3	16年度予算執行率%	93.9	・ほぼ計画どおり事業を行なった。今回、バス通りの歩道防護柵を改良するに辺り、交通規制に係る交通整理員の経費が増加したため、改良延長が減った。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・防護柵の種類と構造を整理統一し、道路工事設計段階で調整により改良時の経費軽減を進めた。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H16=1081件		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・車両の抜け道の歩行者安全、速度抑制、違法駐車防止の対策として要望がある。しかし、道路幅員が狭く設置不可能な路線が大半である。設置に対しては、宅地の出入りなど住民生活に与える影響が大きいので沿道地域全体の賛同が得られにくい。		
	今後の予測	・施設の老朽状況を考慮しながら、路線毎の改良整備を進める。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者や自転車など道路利用者が安心して通行できる道路環境を整備する上で効果は大きい。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 防護柵の老朽化路線で道路工事が予定されている場合、一括で設計発注することで事業費軽減が見込まれる。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。		
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現行の形態が望ましいと考える。		

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・今後も防護柵の種類と構造を整理統一して改良を行なっていく。また、道路工事などと調整して改良することにより事業費軽減や工事期間の短縮に努める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		立看板等			整理番号	610		枝番号		
担当部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		
係名		交通安全施設係			上位施策名				No	
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進	6		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		36年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	区が管理する道路の利用者				(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路上の危険な箇所等に、交通標識や路面標示の補完として、道路利用者に注意を喚起するための簡易な立看板を設置する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路利用者に対し、道路形状や沿道状況の予告及び、交通マナー遵守を喚起することにより、道路交通の安全を確保する。					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 立看板設置数				(1) 看板設置度 = 道路延長/看板管理数						
(2) 管理数値(設置累計枚数)				(2)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		枚	154	149	150	159	150		
	活動指標(2)		枚	1,853	2,069	2,219	2,268	2,418		
	成果指標(1)		m/枚	369	331	308	301	283		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,429	1,474	1,695	1,689	2,186	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年4月1日 道路延長 684,590m	
	(内)委託費		千円	1,429	1,474	1,695	1,689	2,186		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.06	0.08	0.09	0.09	0.11		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	545	720	819	819	1,001		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	1,974	2,194	2,514	2,508	3,187		
	単位あたりコスト ÷		円	12,818	14,725	16,760	15,774	21,247		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	1,974	2,194	2,514	2,508	3,187			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	106.0	活動指標(2)の16年度達成率%	102.2	16年度予算執行率%	99.6	計画どおり事業を行なった。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		立看板材料を視認性のいい物を使用することにより、昼間ばかりでなく夜間も見易くなった。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H16=1081件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・規制標識や道路標示だけで周知しきれない情報を徹底させる上での取付要望が多い。その反面、景観が悪くなるという意見がある。
	今後の予測	・老朽化した看板の交換と交通安全施設整備事業を補完することで効果が上がり要望は高まる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路利用者に直接注意を呼びかける手段として、他の交通安全手段と合わせて実施することによる効果は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:立看板の形状、設置場所や要望内容をよく精査して効率よく設置していく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:構造が最小限の施設であり、また視認性を高めるため費用が増えている。これ以上の削減は出来ない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:標識業界へ道路反射鏡、防護柵、標識、白線などの工事施工を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:現行の形態が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・区が管理する生活道路上における交通事故、スクールゾーンへの車両の進入、交通違反常習箇所などに区民や警察などから取付要望が高くなっている。今後も看板は視認性のいい材料を使用し、設置場所に合った形状に工夫をしながら取付を行なっていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯維持補修			整理番号	611		枝番号			
担当部課を都市整備部維持課		コード 221607			連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	627		
係名 街路灯係					上位施策名			No			
予算事業名 街路灯維持補修					コード 60700			交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 35年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	すべての区道利用者				(2) 杉並区街路灯設置基準						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。				(3) 道路法第42条						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 街路灯管理数				街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。							
(2) 街路灯修理件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 街路灯稼働率 = ((街路灯管理灯数 × 365日) - (街路灯修理件数)) / 街路灯管理数 × 365(日)							
				(2) 街路灯修理率 = 街路灯修理件数 / 街路灯管理灯数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		灯	24,895	24,920	24,948	25,075	25,103	25,159	99.7	
	活動指標(2)		件	1,324	1,314	1,900	1,381	1,900	1,900	72.7	
	成果指標(1)		%	99.99	99.99	99.98	99.98				
	成果指標(2)		%	5.32	5.27	7.62	5.51				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	211,864	204,178	208,287	207,867	208,857	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	92,408	101,489	81,803	81,697	82,231			
	職員数(常勤 非常勤)		人	4.23	3.77	3.77	3.81	3.77			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	38,421	33,907	34,307	34,671	34,307			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	250,285	238,085	242,594	242,538	243,164			
	単位あたりコスト ÷		円	10,054	9,554	9,724	9,673	9,687			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	250,285	238,085	242,594	242,538	243,164				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	100.5	活動指標(2)の16年度達成率%	72.7	16年度予算執行率%	99.8			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			蛍光灯式の街路灯については、蛍光管交換に際して、従来と同等の消費電力で、これまで以上の光量を有するものへの移行を図り、照明効果の改善に努めている。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	塗装・ランプの交換等の実施回数や、定期的な故障等についての発見率に大きな変化はない。街路灯管理数値；H5年24159灯、16年25075灯
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が多い。
	今後の予測	区全域での街路灯の設置状況はおおむね満たされており、急撃に増加することはないと思われるので、現状で推移すると思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由：道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容：修理などにかかる単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済みである。また、光熱費についても精査は実施済みである。
	成果向上のための方策	理由または具体的内容：
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。
協働等の現状	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由： 理由または具体的内容：日常的な区の点検と、区民からの通報により街路灯の故障等をチェックし、修理については民間事業者に委託している。
協働等のあるべき姿	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	今後の具体的な取り組み：現行の役割分担が望ましいと考える。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修に際して、現行より消費効率の良い機器の導入を検討し、光量を維持し、消費電力料の削減に取り組みたい。また、紙台帳による処理を、電子化した地図データベースへ移行させ、よりきめ細かな日常管理と劣化予測等に活用し、効果的な維持補修を図りたい。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 消費効率の良い機器は、現行機器より高価であることから、費用対効果の検証を十分に行う必要がある。地図データベースについては、GISとの統合にかかる調整が必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現行事業内容については、現状を的確・正確・迅速に把握し、現行予算規模での事業運営に尽力する。地図データベースについて費用増を計上する。この導入により、路線単位による補修データの活用が可能となり、かかる経費の効率的な運用が将来的には見込まれる。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯新設		整理番号	612		枝番号				
担当部課名都市整備部維持課		コード 221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	628			
係名 街路灯係				上位施策名				No			
予算事業名 街路灯新設・改修				コード 60850		交通安全の推進					
事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				35 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
すべての区道利用者				(2) 杉並区街路灯設置基準							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 街路灯を新設する。				(3) 道路法第42条							
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 街路灯を新設し、安全性を向上する。							
(1) 街路灯新設数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(2) 街路灯設置要望件数				(1) 街路灯整備率 = 街路灯管理数 / (区道延長 × 有効率 / 30)							
				(2) 新設実績数前年度比率							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		灯	32	28	28	24	28	28	85.7	
	活動指標(2)		件	39	26	40	19	40	40	47.5	
	成果指標(1)		%	97.70	97.75			97.77			
	成果指標(2)		%	94.12	87.50			85.71			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,767	4,513	5,350	5,168	5,552	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	4,729	4,503	5,200	5,140	5,432			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.08	0.08	0.08	0.08			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	908	720	728	728	728			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	5,675	5,233	6,078	5,896	6,280			
	単位あたりコスト ÷		円	177,344	186,893	217,071	245,667	224,286			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,675	5,233	6,078	5,896	6,280				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	85.7	活動指標(2)の16年度達成率%	47.5	16年度予算執行率%	96.6			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			現状契約のなかで、工事期間を含む完成までの効率的な施行を、業者の協力を得ながら行っている。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	S60年4791灯 H8年16887灯 H12年24502灯 H16年25075灯により全路線に街路灯を設置済みとなったが、当面は継続的に道路改修等が続くため、一定数量の新設が必要となる。		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯面から道路照明の充実を求める声が多い。		
	今後の予測	区道の新設は僅かとなるが、水路等で街路灯の設置がない場所が残されているため、今後も現状計画数量を維持し、設置を行っていく必要がある。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	▼	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	▼	理由または具体的内容:	
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	▼	理由または具体的内容:こまめに分散した発注依頼を行い、街路灯新設までの時間を短縮していく。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	▼	理由または具体的内容:道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。	
協働等の現状	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	▼	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。	
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	▼	理由:	
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	▼	理由または具体的内容:要望又は新設道路計画を受け、設置基準による公平で効率的な実施計画を区が行い、進んだ施行技術・効率的な作業方法を採用する民間事業者に工事を委託している。	
	協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	▼		
協働等のあるべき姿	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	▼	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	▼	今後の具体的な取り組み:現行の役割分担が望ましいと考える。	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新設要望から新設完了までの時間の短縮。現在は業者との契約を2回ないし3回に別けている関係から、まとめて業者に依頼することとなる。契約期間をオーバーラップする等の検討を行い、改善していく。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 工種数が増えることから、監督員の業務内容が複雑になる。		
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	現状維持により、こまめに分散した発注依頼を行い、街路灯新設までの時間を短縮していく。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯改修			整理番号	613		枝番号			
担当部課名都市整備部維持課		コード 221607			連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	629		
係名 街路灯係				上位施策名				No			
予算事業名 街路灯新設・改修				コード 60850		交通安全の推進				6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 35年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	すべての区道利用者				(2) 杉並区街路灯設置基準						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 老朽化した街路灯を改修する。 ポール・アーム改修は、設置後30年経過したものを対象とし、器具改修は設置後15年経過したものを対象とし施工を行う。				(3) 道路法第42条						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 街路灯を新設し、安全性を向上する。							
(1) 街路灯ポール・アーム改修数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(2) 街路灯器具改修数				(1) 街路灯ポール・アーム改修率 = 街路灯ポール・アーム改修数 / 街路灯ポール・アーム改修計画数							
				(2) 街路灯器具改修率 = 街路灯器具改修数 / 街路灯器具改修計画数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		灯	194	285	350	454	350	400	113.5	
	活動指標(2)		灯	1,239	1,016	1,000	922	1,000	1,000	92.2	
	成果指標(1)		%	129.33	81.43		129.71				
	成果指標(2)		%	123.90	101.60		92.20				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	114,966	154,919	159,138	152,792	176,636	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度より光源改良90灯 13,292,790		
	(内)委託費		千円	112,268	153,249	155,750	150,959	159,953			
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.29	2.29	2.94	2.94	2.94			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	20,800	20,596	26,754	26,754	26,754			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	135,766	175,515	185,892	179,546	203,390			
	単位あたりコスト ÷		円	699,825	615,842	531,120	395,476	581,114			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	135,766	175,515	185,892	179,546	203,390				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	129.7	活動指標(2)の16年度達成率%	92.2	16年度予算執行率%	96.0				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		街路灯の倒壊、落下を防ぐ為、点検を重視し、安全確保を努めている。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	街路灯ポールアーム改修数; H5年160灯、H16年454灯。街路灯器具改修; H5年284灯、H16年度922灯
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が多い。
	今後の予測	改修時期を迎える街路等の増加が見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 修理などにかかる単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地はない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 日常的な区の点検結果に基づき、進んだ技術と効果的な作業方法を採用する民間事業者に修理を委託している。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現行の役割分担が望ましいと考える。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修時期は設置環境によって大きく変わってくる。改修数量の増大時期を向かえ、真に改修の必要なものを選別し、年度改修数の平準化を図っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 灯柱を一本づつ正確に劣化状況を把握する人的労力が必要となる。また、サンプル調査方法の確定や、合理的な巡回点検の方法について検討する必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	年度間での改修数をなるべく平準化し、現行予算規模での事業運営に尽力する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民有灯補修			整理番号	614		枝番号			
担当部課を都市整備部維持課		コード 221607			連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	630		
係名 街路灯係				上位施策名				No			
予算事業名 民有灯助成(維持補修) コード 61100				交通安全の推進				6			
事務事業の概要	事業開始年度 ●昭和 ○平成 46年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	すべての道路利用者				(2) 地方自治法第232条の2						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。				(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 私道街路灯管理数				私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。							
(2) 私道街路灯修理件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 私道街路灯稼働率 = ((私道街路灯管理灯数 × 365日) - (私道街路灯修理件数)) / 私道街路灯管理灯数 × 100							
				(2) 私道街路灯修理率 = 私道街路灯修理件数 / 私道街路灯管理灯数 × 100							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		灯	8,257	8,298	8,324	8,299	8,325	8,377	99.1	
	活動指標(2)		件	708	900	1,000	441	580	580	76.0	
	成果指標(1)		%	99.98	99.97	99.97	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)		%	8.57	10.85	12.17	5	7	7	76.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,162	33,606	23,449	3,713	3,770	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	33,661	33,537	22,675	3,713	3,770			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.68	0.55	0.55	0.55	0.55			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,176	4,947	5,005	5,005	5,005			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	40,338	38,553	28,454	8,718	8,775			
	単位あたりコスト ÷		円	4,885	4,646	3,418	1,050	1,054			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	40,338	38,553	28,454	8,718	8,775				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	99.7	活動指標(2)の16年度達成率%	44.1	16年度予算執行率%	15.8			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			塗装、ポールの材質を見直したものを採用し、民有灯の耐性を高めている。また、蛍光灯式の街路灯については、その蛍光管交換に際して、従来と同等の消費電力で、これまで以上の光量を有するものへの移行を試行し、照明効果の改善に努めるようにした。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	私道街路灯は概ね一定数量(約25000灯)となり、灯数の増加による故障等も増加をたどってきたが、現在は一定化状態(修理委託 約2000件/年)にある。管理数値平成5年度8313灯、平成16年度8206灯
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	街路灯は区民生活の安全安心のため、必要不可欠のものであり、故障等には迅速な対応が求められている。
	今後の予測	現状の状態での推移が見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:修理などにかかる単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地はない(理由)	理由または具体的内容:行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用手法は見直す必要がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:日常的な区の点検と、区民からの通報により街路灯の故障等をチェックし、修理については民間事業者に委託している。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現行の役割分担が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 故障の発見と通報に、区民の理解と協力を得ることができるようにしてゆく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の理解, 関心が必要となる。街路灯の重要性や修理等のシステム等の情報を提供していく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現行予算規模での事業運営に尽力する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電気料助成		整理番号	615		枝番号				
担当部課を都市整備部維持課		コード 221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	631			
係名 街路灯係				上位施策名				No			
予算事業名 私有灯助成(維持補修) コード 61300				交通安全の推進				6			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	私道街路灯所有町会等の団体・すべての道路利用者			(2) 地方自治法第232条の2							
	私道街路灯所有町会等の団体・すべての道路利用者			(3) 杉並区私有灯の整備に関する条例及び施行規則							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 申請に基づき私道街路灯電気料の支払いなどを行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。							
活動指標名(式) (1) 電気料助成灯数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 電気料助成率 = 電気料助成灯数 / 電気料助成申請灯数 (2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		灯	8,555	8,578	8,704	8,606	8,730	8,782	98.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	100.00	100.00	100.00	100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,329	21,874	26,705	23,521	25,821	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.49	0.44	0.44	0.44	0.44			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,451	3,957	4,004	4,004	4,004			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	28,780	25,831	30,709	27,525	29,825			
	単位あたりコスト ÷		円	3,364	3,011	3,528	3,198	3,416			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	28,780	25,831	30,709	27,525	29,825				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		98.9	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%		88.1		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		継続して電気料金の一括前払いサービスを活用し、経費の削減に努めている。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	電気料助成灯数 平成10年 8,598灯 平成16年 8,606灯	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	助成申請時の手続きの簡素化を求める声がある。	
	今後の予測	宅地開発等による新設私道の増加にともない、私道街路灯の新設も若干の伸びがあり、電気料金の増加もありえる。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	▼	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	▼	理由または具体的内容:公衆用街路灯の電気料金は、公共料金による契約のため成果の向上はない。
	成果向上のための方策	▼	理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	▼	理由または具体的内容:行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用手法は見直す必要がある。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	▼	理由または具体的内容:一括前払サービスの契約料金を活用する等の精査を実施済みであるため、コストの縮減は困難である。	
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	▼	理由:電気料金の助成金交付であるため、区外でおこなうことは適当でない。
	協働等の相手	▼	理由または具体的内容:
	協働等の形態	▼	
協働等のあるべき姿	(6) 協働等の相手	▼	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	協働等の形態	▼	今後の具体的な取り組み:現行の役割分担が望ましいと考える。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 電気料金の助成は町会・自治会へ行うため、多くの一般区民は、その1灯もしくは会の助成金額を知らないことが多いため、料金や他の事項の周知を図っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 広報媒体、機会等が限られている。職員・組織で意識してPRに努める。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	宅地開発等による新設箇所の増加が見込まれるが、助成に当たっては必ず電気料金やその他の設定について十分説明してゆき、制度の理解を深め、協力を得てゆく。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯新設				整理番号	616		枝番号			
担当部課		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	632	
係名 街路灯係					上位施策名					No		
予算事業名 私有灯助成(建設補助)					コード 61300		交通安全の推進					6
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 46年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	すべての道路利用者				(2) 地方自治法第232条の2							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 申請に基づき私道街路灯を新設する。				(3) 杉並区私有灯の整備に関する条例及び施行規則							
活動指標名(式)					事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 私道街路灯新設数値					私道街路灯を新設し、安全性を向上する。							
(2) 私道街路灯設置要望件数					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
					(1) 私道街路灯整備率 = 私道街路灯新設数 / 私道街路灯新設計画数							
					(2) 新設実績数前年度比率							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		灯	30	36	26	24	26	26	92.3		
	活動指標(2)		件	39	38	40	28	40	40	70.0		
	成果指標(1)		%	115.38	138.46		92					
	成果指標(2)		%	69.77	120.00		70					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,885	2,390	2,422	2,249	2,713	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	1,885	2,390	2,422	2,249	2,713				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	363	360	364	364	364				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,248	2,750	2,786	2,613	3,077				
	単位あたりコスト ÷		円	74,933	76,389	107,154	108,875	118,346				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,248	2,750	2,786	2,613	3,077					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	92.3	活動指標(2)の16年度達成率%	70.0	16年度予算執行率%	92.9				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			申請から工事完了まで、長期間待たせることのないように、可能な範囲で調整した。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始時と比べると数量は小さくなっているが(H17年8307 H18年8256 H16年8299 廃灯有り)民間による開発行為が続いているため、一定数量の増加が続いている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が多い。
	今後の予測	現状の状態での推移が見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:修理などにかかる単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用手法は見直す必要がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:区が助成申請を受け、その可否を決定した工事は、民間事業者が行う。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:現行の役割分担が望ましいと考える。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 申請により設置(新設)というシステムにより、現在無関心等から申請(設置)していない私道も多く、今後も斬次申請され続けるものと考えられるので、本事業を継続していく必要がある。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 私道は区の道路管理権がなく、「便利帳」等区の広報に対し限界がある。また、開発行為に伴う企業者の新設についても、その後の居住者の状況の変化から問題が出ることも多く、その調整が課題となっている。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 道路が暗い等の要望に対し、私道については「助成」について説明し要望者並びに近隣住民の理解を得て、基準に照し合せ、新設していく。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			私道街路灯改修				整理番号	617		枝番号			
担当部課名			都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	633	
係名			街路灯係				上位施策名			No			
予算事業名			民有灯助成(建設補助)		コード	61300		交通安全の推進			6		
事務事業の概要	事業開始年度			●昭和 ○平成		46年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	すべての道路利用者					(2) 地方自治法第232条の2							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。ポール改修は設置後30年経過したものを、器具改修は設置後15年経過したものをそれぞれ施行する。		(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則							
活動指標名(式)					事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)								
					私道街路灯を改修し、安全性を向上する。								
成果指標名(式)					成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標								
					(1) 私道街路灯ポール改修率 = 私道街路灯ポール改修数 / 私道街路灯ポール改修計画数								
					(2) 私道街路灯器具改修率 = 私道街路灯器具改修数 / 私道街路灯器具改修計画数								
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)		本	25	18	40	41	40	100	41.0			
	活動指標(2)		件	87	371	400	204	400	420	48.6			
	成果指標(1)		%	125.00	45.00		103						
	成果指標(2)		%	91.58	92.75		51						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,135	29,795	30,632	29,732	30,322	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	8,908	29,052	29,610	29,060	29,318					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,635	1,619	1,638	1,638	1,638					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	10,770	31,414	32,270	31,370	31,960					
	単位あたりコスト ÷		円	430,800	1,745,222	806,750	765,122	799,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	10,770	31,414	32,270	31,370	31,960						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	102.5	活動指標(2)の16年度達成率%	51.0	16年度予算執行率%	97.1					
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			必要な改修を進め、安全を向上させる。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始時の設置灯数が多く、改修を要する街路灯の数は増加傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が多い。
	今後の予測	改修時期となる街路灯の増加が予想される
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:街路灯は全て同一の型式に定め改修工事単価等を定めているため、成果の向上はない。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用手法は見直す必要がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:日常的な区の点検と、区民からの通報により街路灯の故障等をチェックし、修理については民間事業者に委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:現行の役割分担が望ましいと考える。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修時期は設置環境によって大きく変わってくる。改修数量が増大傾向にあるため、真に改修の必要なものを選別し、年度改修数の平準化を図っていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 灯柱を一本づつ正確に劣化状況を把握する人的労力が必要となる。また、サンプル調査方法の確定や、合理的な巡回点検の方法について検討する必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 年度間での改修数をなるべく平準化し、現行予算規模での事業運営に尽力する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		通学安全指導業務			整理番号	723		枝番号																																													
担当部課名		教育委員会事務局学校運営課		コード	600204		連絡先電話番号	1615																																													
係名		職員係		上位施策名				No																																													
予算事業名		学校人事・給与事務		コード	72000		交通安全の推進		742																																												
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業																																														
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等																																																
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1)																																																
	区立学校に通学する児童		(2)																																																		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		(3)																																																		
区立小学校の児童の通学における安全指導・誘導を行う。行財政改革実施プランに基づき、学童擁護職員は退職不補充となっているため、学童擁護職員のいない小学校については業務を委託する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）																																																			
活動指標名(式) (1) 委託学校数 (2) 委託ポイント数(通学安全指導員の立つポイント数)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 交通事故発生件数 (2)																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">14年度実績</th> <th rowspan="2">15年度実績</th> <th colspan="2">16年度</th> <th rowspan="2">17年度計画</th> <th rowspan="2">目標値 20年度</th> <th rowspan="2">目標値に対する16年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標(1)</td> <td>校</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>37</td> <td>83.8</td> </tr> <tr> <td>活動指標(2)</td> <td>所</td> <td>80</td> <td>88</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>100</td> <td>115</td> <td>83.5</td> </tr> <tr> <td>成果指標(1)</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標(2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値 20年度	目標値に対する16年度の達成率%	計画	実績	活動指標(1)	校	27	29	31	31	32	37	83.8	活動指標(2)	所	80	88	96	96	100	115	83.5	成果指標(1)	件	0	0	0	0	0	0		成果指標(2)													
区分	単位					14年度実績	15年度実績				16年度		17年度計画	目標値 20年度	目標値に対する16年度の達成率%																																						
		計画	実績																																																		
活動指標(1)	校	27	29	31	31	32	37	83.8																																													
活動指標(2)	所	80	88	96	96	100	115	83.5																																													
成果指標(1)	件	0	0	0	0	0	0																																														
成果指標(2)																																																					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	84,688	88,731	105,894	95,485	109,796	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)																																												
	(内)委託費		千円	84,688	88,731	105,894	95,485	109,796																																													
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10																																													
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	908	899	910	910	910																																													
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0																																													
	総事業費 ++		千円	85,596	89,630	106,804	96,395	110,706																																													
	単位あたりコスト ÷		円	3,170,222	3,090,690	3,445,290	3,109,516	3,459,563																																													
	財源	受益者負担分		千円																																																	
		国・都等からの支出金		千円																																																	
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0																																											
差引:一般財源 -		千円	85,596	89,630	106,804	96,395	110,706																																														
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																														
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	90.2	委託は学童擁護職員の退職との関係で発生するため、計画と実績に大幅な違いが生じることはほとんどない。 毎年、1~2校程度の新規委託となっている。																																													
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		要望のあった既委託校の通学安全指導地点について、現地確認のうえ増設した。 学童擁護職員の退職に伴う欠員分について新規に委託しているため、予算は年々増額となっている。																																																			

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	信号機や横断歩道、ガードレール等の整備のほか、安全な通学路の指定等の環境整備が進んでいる反面、交通量の増加により危険度が増している。 学校弾力化により指定通学区域以外から通学する児童が増えてきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通学時の安全確保に最大限配慮してほしいという要望がある。 不審者対策など交通安全以外の部分で、通学時の児童の安全確保についての要望が高まっている。
	今後の予測	委託学校数の増加及び学校及び保護者からの要望に伴う通学安全指導地点の増加が予想され、事業規模は大きくなると考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:通学安全指導員が配置されている箇所での大きな事故報告は受けておらず、児童の安全確保に寄与していると考えられる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:委託学校数及び通学安全指導ポイント数は今後も増加が見込まれる。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:小学校に通学する児童全員の通学安全確保に関する事業であり、受益者負担にはなじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:通学安全指導員が立つポイント数や1日の委託時間数を見直す。ただし、委託学校数が増加していく間は、事業費は増加していく。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由:学童擁護職員の退職に伴い、通学安全指導業務を委託している。 理由または具体的内容:16年度実績で、小学校44校中31校の通学安全指導業務をシルバー人材センターに委託している。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:今後も継続して通学安全指導業務の委託を進めていく。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業の委託化を計画どおり進めていく。 学校ごとの通学時の実態を考慮しながらより重要度の高い地点に配置するなどの見直しを図っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 配置地点の見直しにより廃止される地点が生じる場合、学校・保護者からの反対が予想される。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	学童擁護職員の欠員に対して委託を進めているので、委託校数の増加が見込まれる。 既委託校から通学安全指導地点の増加の要望があるため、委託ポイント数の増加が予想される。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区立小学校の通学路の指定・整備				整理番号	742		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局学務課		コード	600301		連絡先電話番号	1622		昨年度整理番号	762				
係名				学事係				上位施策名		No					
予算事業名				通学路の設置管理				コード		73600		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		38 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 交通安全対策基本法第4条 (2) 交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法、同施行令 (3) 杉並区立小学校の通学路設定要綱								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				歩車道の区別があるなど、児童が主として登下校するのに適した道路を通学路に指定する。東電広告(株)が管理する電柱に「文」標識を取付け、通学路である旨を自動車等の運転手に周知する。また、時間規制のある通学路上にスクールゾーン標示板(バリケード)を設置できるようにするため、区立小学校に配布する。										
	活動指標名(式)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） (1) 通学路標識の取替え組数 (2) スクールゾーン標示板(バリケード)の配布数										
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 登校時に交通事故に遭った児童数 (2) バリケードの活用率 = 配布数											
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%						
					計画	実績									
指標	活動指標(1)		組	975	967	872	871	789							
	活動指標(2)		基	10	59	9	9	9							
	成果指標(1)		人	7	12	0	9	0							
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,201	3,669	3,004	3,986	2,735	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)委託費		千円	2,867	2,846	2,564	2,562	2,320							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.42	0.33	0.30	0.34	0.30							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,815	2,968	2,730	3,094	2,730							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	7,016	6,637	5,734	7,080	5,465							
	単位あたりコスト ÷		円	7,196	6,863	6,576	8,129	6,926							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0				
差引:一般財源 -		千円	7,016	6,637	5,734	7,080	5,465								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	99.9	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	132.7	通学路の安全確保に関連する標識の作成取付け、バリケードの作成等は、予算見積りどおりの執行が達成された。						
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			通学路標識交換のサイクルは5年毎から8年毎へと修正変更しており、耐久性を考慮するとこれ以上の交換サイクル延伸は困難である。また、16年度予算には、15年度インセンティブ予算として計上されていたバリケード50基分が計上されていないため、その分も含め、約600千円の削減となっている。												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和40年代に入り、車が著しく増加したことから、通学路の交通安全を確保する必要が生じ、通学路の設定や交通規制が行われた。現在も、学校周辺で交通規制が行われているが、幹線道路の渋滞を回避した車の増加と共に、危険も併せて増加しつつある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通学路で交通規制がなされているにもかかわらず、抜け道として車が進入してくるので危険。マンション建設で工事車両が通行するので、通学路を変更してほしい。違法な車の進入を防止するため、バリケードを配布してほしい。バリケードの設置が時間どおりに置かれていないので、置かないでほしい。
	今後の予測	増加する車両に対し、道路整備が追従できず、渋滞する幹線道路から生活道路に流入してくる車両が年々増加する。また、児童生徒をめぐる様々な事件が多発する中で、通学時における危機対策の再構築が求められる。今後、「学校希望制度」の定着と「適正配置」の進展とともに児童の通学ルートに変化が生じ、学校及び保護者から通学路の新設・変更についての要望がこれまでよりも多く寄せられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:通学路の指定・整備を行うことで、学校が行う児童に対する登下校時の指導と「文」標識やバリケード設置による運転者への注意喚起で、交通安全を確保できる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担の設定不可
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:「文」標識の取り替えサイクルを見直した(5年 8年)が、標識の材質・耐用年数からすると限界である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由または具体的内容:登下校時の児童の安全を確保する視点から地域の自治会やボランティア、シルバー人材センター等に交通規制時間帯でのバリケードの出し入れ管理を依頼しており、貴重なマンパワーを得ている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 地域住民自らのマンパワーで通学時の児童を守る。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 通学路の安全確保については、従来の交通事故の防止に加え、防犯や防災といった視点に立った事業の再構築が望まれることから、通学路の実態把握を行い、通学路沿道の整備や地域での見守りなどの対策を講じていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在の通学路の交通安全に関わる部門(教育委員会、道路管理者、警察署等)だけでは対応できないため、危機管理・まちづくり・地域振興などに関わる部門との調整及び連携の強化を図る必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	通学路標識の設置やバリケードの作成配布といったハード面での整備は、学校・地域等の要請があれば引き続き行っていく。破損や腐食等の交換業務を適正に行うこと以外では、「学校安全マップ」の充実等、ソフト面での啓発的な事業展開を図って行く必要がある。また、適正配置の進捗に伴い、通学区域の変更による通学路の見直しによる児童の安全確保についても、随時検討・着手して行くものとする。